

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2024年12月

結果公表日:2025年3月27日

回答率

事業所職員: 5名回答、回答率 100%

保護者様: 26名回答、回答率 92%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・児童が入室してから動きやすい動線を意識し、室内の机やロッカーの配置をおこなっている。
- ・法令上の人員基準を満たして運営をしており、送迎調整や配置の工夫で対応している。

○業務改善

- ・限られた時間の中で、全員が参加出来るミーティングの時間を確保している。業務分担や事務作業の効率化を図りながら、職員間で意見を出し合い、改善に向けての日々の支援に取り組んでいる。

○適切な支援の提供

- ・集団活動では療育内容に偏りが出ないように、職員間で相談したりや案を出し合ったりして、バランスの良い療育になるように努めている。その日の療育内容を児童に実施する前に、職員の動きの確認も行い、「ねらい」に応じた療育がなされるよう内容の伝達を重視している。
- ・児童の社会性・人間関係を育む活動として専門的支援を行い、少人数でのきめ細やかな支援を目指している。
- ・その日の集団、専門的支援(個別も含む)に関しては、出来るだけ当日中に振り返りを行い、次の療育に活かせる様に工夫し、質の高い療育を職員全体で共有していく。

○関係機関や保護者との連携

- ・日々の学校送迎の際に、学校の先生と児童の様子についての共有をすることが出来ている。相談支援を利用されているご家庭は、モニタリングで相談支援員が訪問した際に児童の日頃の様子の情報共有を行っている。

○保護者への説明責任等

- ・送迎時の保護者対応や家族支援を通じて、児童の直近の課題や支援内容についての共有を行っている。
- ・運営規定や支援の内容についてはきめ細かに説明を行っている。

○非常時等の対応

- ・毎月の活動に於いて地震・火災・水害を想定した避難訓練を実施している。
- ・緊急時の児童の安全の確保を最優先し、職員の連携や動きの確認を行い、速やかな対応に努めている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

・教室の広さについて、「仕方がないとは思いますが可能であれば、高学年の児童がいる為、もっと広さがあればいいと思う」というご意見をいただいた。

○適切な支援の提供

・児童と保護者のニーズや課題をもとに適切な支援の提供がなされているかについては、90%以上のご家庭から「はい」のご回答をいただいた。「今の課題、今後の課題など将来を見据えた支援を提供しようという気持ちを感じ取れる」という意見もいただいた。

・子どもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていますかという質問に関して、「職員によってスキルの差がある」というご意見をいただいた。

○保護者への説明等

・支援内容の伝達や利用者負担に関する説明がなされているかについては、90%以上のご家庭から、「はい」のご回答をいただいた。今後も送迎時やサービス提供記録なども活用し、児童のその日の様子を丁寧に伝えられるように職員の意識を高めていく。

・父母の会の活動の支援やきょうだい支援などがあることが「わからない」というご意見を34%いただいております、それらの支援の周知方法について検討する必要がある。

○非常時等の対応

・緊急時対応マニュアルの周知や、避難訓練の実施については90%以上のご家庭から発生を想定した訓練が実施されているとのご回答をいただいた。

○満足度

・「お休みを嫌がるほど大好きな場所」「小さなことでも共有いただき本人のみならず、私も安心できる場所です」とのご意見をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

・感染症対策を行ったうえで、保護者会や療育参観を企画・実施する。

・年度に一度、緊急時のマニュアルについてのお知らせを配信し、非常時の対応について保護者と共通認識をもてるように努める。また、緊急連絡先の確認にも繋げていく。

○改善できた点・まだ残る課題

・感染症対策をしたうえで、親子で療育プログラムに参加いただき、保護者会を行うことができた。

・緊急時のマニュアルについてお知らせを配布し保護者の方に共通認識の伝達を行った。緊急連絡先の登録にもご協力いただくことができた。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・日々の児童の様子を丁寧に説明し、面談時や送迎時に保護者の気持ちに寄り添うことができている。児童の現在の課題について、療育活動を通じて少しずつでも身に付けていける環境を提供できるよう職員が一丸となり支援に取り組める事を目標としている。児童に対しても保護者に対しても、職員との間の信頼関係を作り上げ、協力し合える関係づくりを進められている。
- ・療育活動に対して、職員が児童の興味関心をひきつけ、魅力ある内容に出来るように努力しており、児童が参加意欲を高められる内容にできている。療育の質の向上を目指し、定期的に職員で話し合う姿勢も大切にしている。

○改善点

- ・保護者会を通じて、父母会の活動やきょうだい支援についての情報共有を行うようにしていく。
- ・職員の支援のスキルの差を改善するために、教室内研修や日頃のミーティングを通じてスキルの向上に努めていく。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者同士のイベントや交流の場を持てる企画を実施する。
- ・様々な非常事態に備えて、各ご家庭との連携が深まるよう職員同士や保護者への周知徹底を行う。
- ・スマートキッズでの様子をタイムリーに知っていただけるようブログを活用をし、児童の日頃の様子や支援内容を知ってもらう。

○1年間で取り組む具体策

- ・集団活動の時間が多く確保できる土曜や長期休暇の時間を活用し、保護者参加の療育プログラムの活動を実施する。
- ・毎月の避難訓練では防災の知識が深まり、実際の有事に役立つものを意識して実施していく。
- ・療育活動の様子をタイムリーにブログやニュースレターで各ご家庭にお知らせしていく。

スマートキッズ